

NTT Comとパナソニック、CROSS LABにて 顔認証を統合IDとするデータ利活用の事業共創を開始

～顔認証による入退室とパーソナルな照明・空調制御による生産性向上を実現～

NTTコミュニケーションズ株式会社(以下NTT Com)とパナソニック システムソリューションズ ジャパン株式会社(以下パナソニック)は、NTT Comが2021年4月に開設した共創環境「CROSS LAB for Smart City」※1(以下CROSS LAB)にて、顔認証を統合IDとするデータ利活用事業の共創を2021年6月より開始しました。

NTT Comのデータ利活用基盤の1つである「Smart Data Platform for City」と、ディープラーニングを応用した世界最高水準※2の顔認証技術を活用したパナソニックの「顔認証 入退セキュリティ&オフィス可視化システムKPAS(ケイパス)」を連携し、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い需要が高まっている非接触での入退室や、属性に合わせたパーソナルな照明・空調制御をおこなうことで、オフィスでの生産性向上をめざします。



1. 背景

NTT Comは、都市から収集されたさまざまなデータの利活用に必要な「収集」「蓄積」「管理分析」に関する機能をワンストップで提供するプラットフォームである「Smart Data Platform for City」を通じ、これらの都市課題の解決に取り組んできました。

パナソニックは、世界最高水準の顔認証技術を活用した顔認証ソリューションをはじめ、センシングソリューションやエッジデバイスなどの“現場センシングソリューション”を提供し、鉄道・空港やアミューズメントパーク、店舗やオフィスなどあらゆる現場の課題解決に取り組んでおり、今回、NTT Comが持つデータ利活用基盤との連動による新たな価値の創出をめざし、事業共創を開始します。

2. 取り組み内容

NTT Comの「Smart Data Platform for City」上で、顔画像とひもづいた情報を統合IDとして管理し、CROSS LABのさまざまなシステムと連動させます。顔画像をIDに活用することで、利用者側はIDカード等の紛失によるセキュリティリスクを低減でき、衛生的にも優れる非接触での認証が可能というメリットがあります。管理側としても、カメラや認証端末を設置するだけで利用できる顔認証を活用することで、サービスの利便性を高められます。

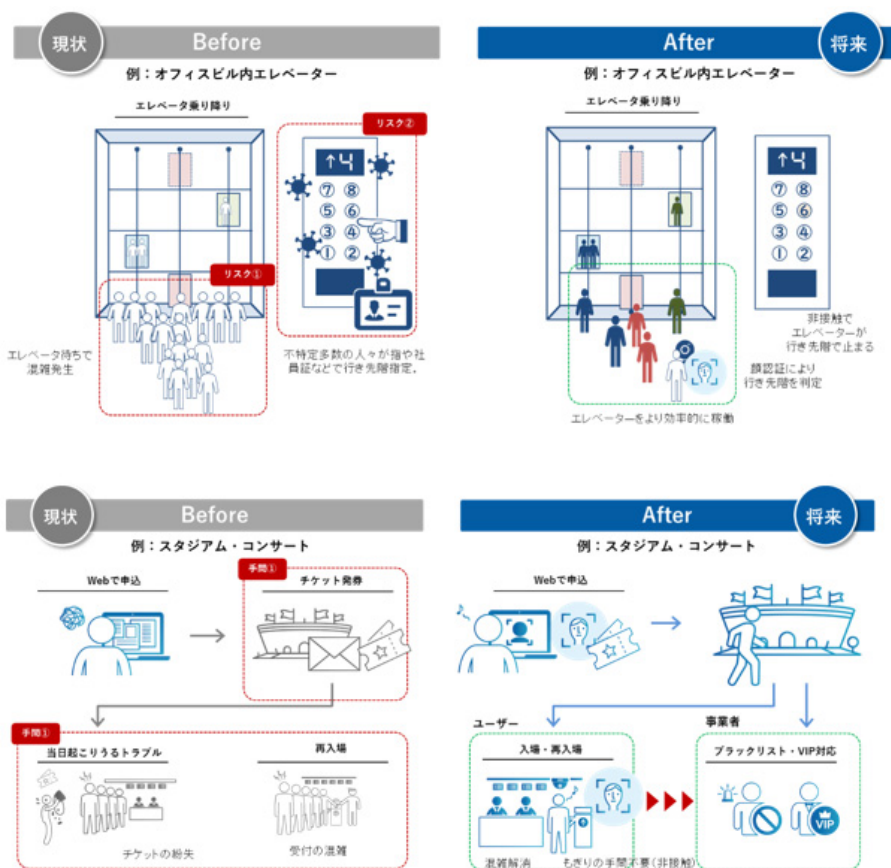
今回の事業共創では、入退ゲートの顔認証で得た属性情報に応じて、室内のエリアごとの照明や空調を制御します。例えば、色を正しく見る必要がある印刷やデザイン関係の仕事をする人のエリアでは照明を自然光に近い明るさにするなど、一人ひとりの業務内容に合わせた環境作りをすることで、ストレスの少ないオフィス環境の実現に向けた検討を行います。



3. 今後の展開

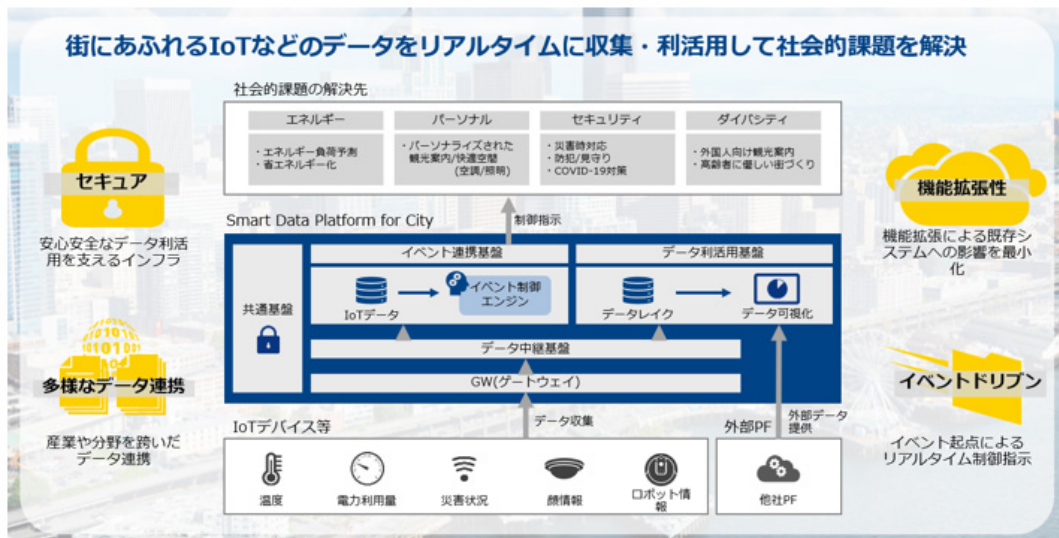
NTT Comの「Smart Data Platform for City」と、パナソニックの顔認証技術の連携を一層深め、顔認証を統合IDとした、利便性の高い新たなソリューションの提供をめざします。

一例として、オフィスビルでは、待ち時間の短縮によって密を回避する仕組みを検討しています。一人ひとりの行き先階を把握しエレベータの制御を行うことで、利用者を効率よくエレベータに誘導することが可能になります。また、スタジアムやアリーナにおいては、タッチレスな入退場や決済環境に加え、一人ひとりに合わせたパーソナルなファンサービスの提供を検討しています。



■NTT Comの「Smart Data Platform for City」について

「Smart Data Platform for City」は、人の流れや施設内外の情報、ロボットなどのモノの情報など都市に点在するさまざまなデータをシームレスに融合できるプラットフォームです。「Smart Data Platform for City」上にデータを整理し、連携しやすくすることで、日々の活動から生まれるデータを企業成長のエンジンへと変える、次世代のプラットフォームです。



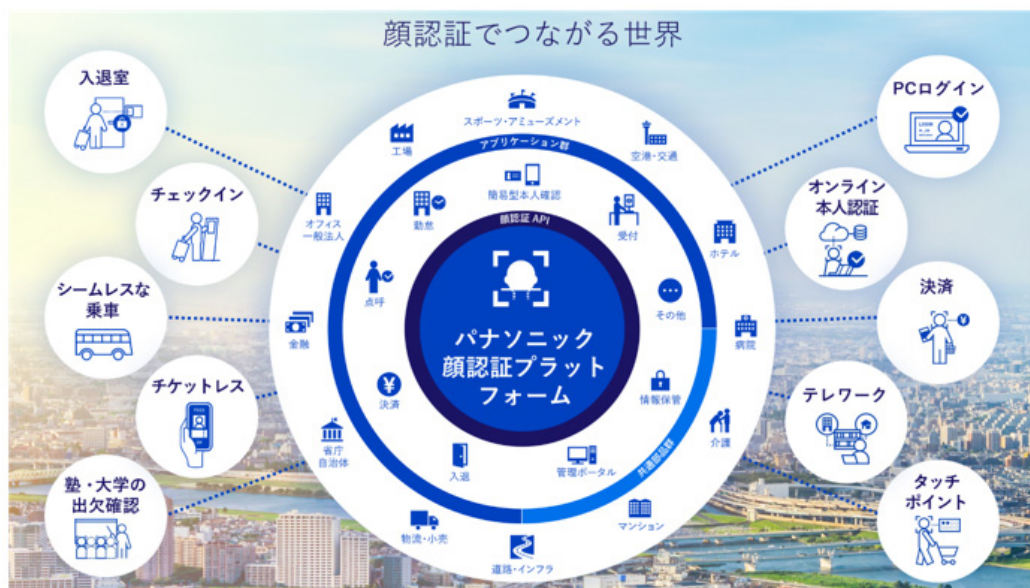
▼NTT Com「Smart City」Webサイト
<https://www.ntt.com/business/dx/smart/city/>

■パナソニックの顔認証技術について

パナソニックの顔認証技術は、ディープラーニングを応用した世界最高水準※2の顔認証技術です。顔の向きや経年変化、メガネなどにも影響されにくく、快適にご利用いただけます。

パナソニックは、これまでも空港での厳格かつ円滑な本人確認や、アミューズメントパークでのチケットレス入退場、店舗でのキャッシュレス決済、オフィスでのICカードレス入退室などで、顔認証技術を応用したシステムを展開しており、1日10万回超の固有の顔認証を達成してきました(パナソニック調べ)。

また、2020年11月には新たに顔認証APIエンタープライズエディションと顔認証SaaSプラットフォームを提供開始し、顔認証のサービスラインアップを拡充しています。



▼パナソニックの顔認証サイト
<https://biz.panasonic.com/jp-ja/solutions/facial-recognition>

▼顔認証 入退セキュリティサイト&オフィス可視化システムKPAS

https://biz.panasonic.com/jp-ja/products-services_kpas

▼現場センシングソリューションサイト

<https://biz.panasonic.com/jp-ja/gemba-sensing>

※1 Smart Cityにおけるさまざまなパートナーの皆様と、知見や技術を持ち寄り、オープンかつアジャイルな開発ができる共創の場として、2021年4月に開設。グリーンフィールド型Smart Cityなど、実際のフィールドでの実証実験が困難な場合の実証実験や、センサなどを用いた技術検証を行うことができ、Smart City分野でのサービス/ソリューションの価値創造の加速に寄与する施設です。

※2 2017年4月28日に公開されたNIST公式の評価レポート(IJB-A Face Verification Challenge Performance Report, IJB -A Face Identification Challenge Performance Report)において世界最高水準の評価を得ており、引き続きNIST「FRVT 1:1」(2021年3月19日発行)の「Ongoing Face Recognition Vendor Test」においても、世界最高水準の評価結果を獲得しました。

<NTTコミュニケーションズ株式会社の概要>

代表者	代表取締役社長 丸岡 亨
本社所在地	〒100-8019 東京都千代田区大手町2-3-1 大手町プレイスウエストタワー
設立	平成11年7月1日
事業内容	電気通信事業等
URL	https://www.ntt.com/

<パナソニック システムソリューションズ ジャパン株式会社の概要>

代表者	代表取締役社長 片倉 達夫
本社所在地	東京都中央区銀座8丁目21番1号
設立	2017年4月1日
事業内容	システムインテグレーション等
URL	https://www.panasonic.com/jp/company/pssj/company.html

*パナソニックグループの持株会社制への移行にともない、パナソニック システムソリューションズ ジャパン株式会社は、2022年4月より、「パナソニック コネクト株式会社」に変わります。

以上

プレスリリースの内容は発表時のものです。

商品の販売終了や、組織の変更等により、最新の情報と異なる場合がありますのでご了承ください。